

新型コロナウイルス感染症対策事業及び地方創生臨時交付金の活用状況について

No	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠(対象数・単価等) ④交付対象者(自治体自ら実施の場合、不要) ※実施計画書の内容を掲載しています	事業期間	総事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	成果目標		評価	担当課
							(目標)	(実績)		
1	高萩市立小中学校 ICT活用支援事業	①新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校用タブレット端末の導入により、操作支援や障害トラブル等への対応を行うため、各学校へのICT支援員派遣 ②高萩市立小中学校 ICT支援員派遣経費 ③8h/日×4,000円×168回(7校×2回×12月)×1.1=5,913,600円 ④市内小中学校児童	R4.4.1 ~ R5.3.31	5,885,000	5,885,000	・申請期間 R4.4.1~R5.3.31 ・補助人数 1,712人 ・補助総額 5,885千円	新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	新型コロナウイルス感染症対策に伴い全児童生徒にタブレット端末が導入され、ICT教育が推進された。それに伴い、タブレット端末の操作支援や障害トラブル等に対応するため、各校へICT支援員を派遣することができた。	学校教育課
2	電子入札経費	①新型コロナウイルス感染防止対策のため入札の電子化、効率化を図る ②いばらき電子入札システム共同利用負担金 ③運用経費、開発等経費 2,333千円 ④高萩市	R4.4.1 ~ R5.3.31	2,332,671	2,332,671	電子入札件数: 52件 (内訳: 工事: 34件、コンサル18件)	電子入札件数 50件	52件	電子入札システムを利用することで、必要最低人数の関係者で入札を執行することが出来、コロナ感染防止につながった。	総務課
3	観光施設等Wi-Fi利用料	①新型コロナウイルス感染症感染拡大により落ち込んだ観光の回復に向け、観光施設のWi-Fi等の通信環境を整備する ②公衆無線LANにかかる電気料及び回線利用料 ③電気料 1,000円/月×12月×9基=108,000円 回線使用料 60,720円×12月=728,640円 ④花貫ふるさと自然公園センター等7施設	R4.4.1 ~ R5.3.31	793,368	793,368	・Wi-Fi接続者数/日(基準日R4.11.4~R5.3.31) さくら宇宙公園: 3人 花貫ふるさと自然公園: 4人 小滝沢キャンプ場駐車場: 3人 大能駐車場: 2人 花貫駐車場: 3人 小山ダム: 4人 花貫物産センター: 4人	観光入込客数 221,000人	314,200人	観光施設のWi-Fi等の通信環境を整備したことにより、観光客の受入体制整備、利用者の利便性の向上を図ることができた。	企画財政課
4	防災アプリ専用線使用	①3密を回避した分散避難の呼びかけを補完する避難所空き情報の配信のための防災アプリに要する経費 ②防災行政無線放送配信アプリサービス使用料、専用線使用料 ③アプリサービス使用料278,000円 専用線使用料16,000円×12月=192,000円 ④市庁舎内	R4.4.1 ~ R5.3.31	468,600	468,600	・配信開始日 R4.5.24 ・ダウンロード件数 2,355件 (R5.3.31現在)	市民へのアプリ普及率 10%	9%	防災アプリの導入により、避難時や避難所での密を回避することが可能となり、感染拡大を防止する環境を整えた。	危機対策課
5	産業祭開催に伴う新型コロナウイルス感染症対策経費	①令和4年度開催予定の産業祭について、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費 ②高萩市産業祭実行委員会補助金 ③感染防止対策経費500千円 ④高萩市産業祭実行委員会	R4.8.1 ~ R5.1.31	500,000	500,000	・開催日 R4.11.19~20(2日間) ・来場者数 19,600人	当該事業での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	産業祭会場内で来場者、出店者等に密着消毒等の対策を実施したことで、感染拡大防止につながった。	観光商工課
6	公園施設環境整備	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策及び衛生環境保持のため、不特定多数の利用者が触れるトイレ洗浄ハンドル等を非接触化(自動化)に整備する ②本町ファミリースポーツ公園トイレ整備工事請負費 ③非接触型水洗のトイレ整備11,319千円 ④本町ファミリースポーツ公園	R4.7.14 ~ R5.2.8	11,319,000	11,319,000	・ユニット型多目的トイレ整備 ・設置設備: 車いす対応洋風大便器、男子小便器、非接触型水栓付洗面台、おむつ交換台、ベビーカー、オストメイト ・補助総額 11,319千円	当該施設での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	新しい生活様式を踏まえた多目的トイレの整備により、ポストコロナにおいて多様な公園利用者が安心・快適に利用できる衛生環境を提供することができた。	都市建設課
7	市報発送	①新型コロナウイルス感染症対策関連情報について、市報お知らせ版臨時号の発行により市民等への情報発信を行う。 ②消耗品26千円、印刷製本費200千円、手数料53千円 ③消耗品7,600枚×3.3円 印刷製本費5,000枚×9.9円×3回、7,600枚×6.05円、2枚×5.500円 手数料14,550枚×3.63円 ④高萩市	R4.4.1 ~ R5.3.31	283,376	283,376	・防災アプリチラシ作成 22,600枚 ・防災アプリポスター作成 2枚 ・新聞折り込み(2回) 14,550枚	情報発信した場合の市民への周知率 70%	70%	防災アプリを周知し、導入してもらったことにより、避難時や避難所での密を回避することが可能となり、感染拡大を防止する環境を整えた。	危機対策課
8	新型コロナウイルス感染症対策用品等購入(公共施設分)	①各施設での新型コロナウイルス感染症対策用消耗品として、消毒液や除菌シートを購入 ②消耗品費 ③市庁舎200千円、集会所22千円、小中学校1,242千円、幼稚園67千円 ④高萩市内35施設	R4.4.1 ~ R5.3.31	1,518,658	1,518,658	・対象施設 市庁舎、集会所・市民センター、市内公立小学校4校、中学校3校、幼稚園2園 ・消毒液や除菌シート等の感染症対策用消耗品の購入 市庁舎204千円、集会所・市民センター19千円、小学校776千円、中学校466千円、幼稚園67千円	各施設での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	市内公立小中学校、幼稚園において消毒液等を購入することにより、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図ることができた。	総務課 教育総務課
9	校内除菌清掃委託料	①学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、児童及び生徒の学びの保証のため、校内除菌清掃を実施する ②校内除菌清掃委託料 【小学校 4,094千円、中学校 3,959千円(4月~6月)】 【追加】小学校 9,528千円、中学校 9,216千円(7月~R5.3月) ④市内公立小中学校7校	R4.4.6 ~ R5.3.24	25,977,600	25,977,600	・実施施設 市内公立小学校4校 中学校3校 ・実施期間 R4.4.6~R5.3.24 小学校198日 中学校196日	市内小中学校での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	市内小中学校の校舎共有部分の除菌清掃作業により、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、児童生徒が安心して登校できる環境を整えた。	教育総務課
10	高萩キャンプ促進事業(はぎびレッジ南エリア給排水関係)	①新型コロナウイルス感染症感染拡大により落ち込んだ観光の回復に向け、3密を回避できる、アウトドアの環境整備を図り、ウィズコロナ下での観光事業の推進を図る ②工事請負費 ③給排水整備、敷地内通路整備等 計31,339千円 ④高萩市	R4.5.1 ~ R5.3.24	30,162,000	30,162,000	・工事契約日 R4.5.17 ・竣工日 R5.3.20	観光入込客数 221,000人	314,200人	井戸、浄化槽、手洗いシンクを新たに設置したことにより、観光客の受入体制整備、利用者の利便性向上を図ることができた。	観光商工課
11	電子書籍貸出システム使用料	①令和3年度に導入した、インターネットを通じて24時間利用可能な電子図書館を運用し、図書館内の3密を防ぐとともに、貸出図書との非接触化を図る ②電子書籍貸出システム使用料 ③クラウド使用料 12月×55千円=660千円 ライセンス使用料 100冊×3,080円=308千円 ④高萩市立図書館	R4.4.1 ~ R5.3.31	966,691	966,691	・電子図書館システムを維持管理し、新たに80点の電子書籍を導入した ・利用者数 1,578人	電子図書館利用者割合を0%から5%以上とする	7.86%	図書館に来館しなくても図書類の貸出、返却ができる環境となったことから、接触による感染リスクをなくすことができた。	生涯学習課
12	高萩キャンプ促進事業(花貫ふるさと自然公園電力関係)	①新型コロナウイルス感染症感染拡大により落ち込んだ観光の回復に向け、3密を回避できる、アウトドアの環境整備を図り、ウィズコロナ下での観光事業の推進を図る ②電力引込工事にかかる工事業者への負担金 ③6,336千円 ④高萩市、東京電力	R5.3.1 ~ R5.3.31	6,336,000	6,336,000	・事業期間 R5.3.1~R5.3.31 ・電柱65基新設	観光入込客数 221,000人	314,200人	キャンプ場内への安定的な電力供給により、観光客の受入体制整備、利用者の利便性の向上を図ることができた。	観光商工課
13	ライトアップイベント事業	①ウィズコロナ下において市内宿泊施設、飲食店の需要回復を図るために、市内観光スポットで、ライトアップイベントを年2回開催する(8月海岸付近、11月花貫谷おきく宇宙公園) ②イベント実施に要する経費 ③スカイランタン一式 1,500千円、イベント開催運営経費1,000千円 ④高萩市、委託業者等	R4.6.1 ~ R4.12.31	2,500,000	2,500,000	・R4.8.11~8.14 台風のため中止 ・R4.11.3~11.6 入込3,700人 スカイランタン打上げ、竹あかりやひょうたんライト、キャンドル、プロジェクト ③シモンマッピングなどによるライトアップを実施	観光入込客数 221,000人	314,200人	8月に開催のイベントは台風の影響により中止となったが、11月に開催した際は、3,700人の方が訪れたとともに、新たな観光コンテンツを創出することができ、市内宿泊施設及び飲食店の需要回復につなげることができた。	観光商工課
14	社会教育施設のオンライン環境整備	①新型コロナウイルス感染症防止のため、文化会館で実施する会議のオンライン化や講習会等のオンライン配信を可能にする環境を整備する ②備品購入費、回線工事費 ③Wi-Fi回線工事436千円 ④文化会館	R4.11.8 ~ R5.1.31	435,600	435,600	文化会館会議室及びホール舞台上でWi-Fiの利用が可能となった	当該施設での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	オンライン事業の環境を整えたことにより、新型コロナウイルス感染症が発生した場合においても事業実施の幅が広がった。	生涯学習課
15	高萩キャンプ促進事業(花貫ふるさと自然公園センター)	①新型コロナウイルス感染症感染拡大により落ち込んだ観光の回復に向け、3密を回避できる、アウトドアの環境整備を図り、ウィズコロナ下での観光事業を推進する ②施設整備、改修費 ③給排水整備、キャンプ電源整備経費 計2,313千円 ④高萩市	R4.7.1 ~ R4.9.30	2,312,640	2,312,640	・工事契約日 給排水ポンプ修繕 R4.7.20 電気工事 R4.8.29 ・工事完了日 給排水ポンプ修繕 R4.9.30 電気工事 R4.9.30	観光入込客数 221,000人	314,200人	給排水施設を整備したことで、利用者に衛生的にアウトドアを楽しんでもらう環境を整えることができた。 また、電源サイトを整備したことにより、新たな利用者を確保することができ、利用者数の増加が図れた。	観光商工課
16	花貫溪谷外灯整備	①新型コロナウイルス感染症感染拡大により落ち込んだ観光の回復に向け、3密を回避できる、アウトドアの環境整備を図り、ウィズコロナ下での観光事業を推進する ②花貫溪谷外灯整備工事費(LED照明塔整備) 500千円 ③既存電柱にLED設置 ④高萩市	R4.9.1 ~ R5.3.24	529,320	529,320	・工事契約日 区間①R4.9.20 区間②R5.2.13 ・工事完了日 区間①R4.10.25 区間②R5.3.22	観光入込客数 221,000人	314,200人	街灯を設置することで、夜間にも安心安全に観光を楽しんでもらえる環境づくりが図られた。	観光商工課
17	穂積家住宅環境整備	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策及び衛生環境保持のため、不特定多数の利用者が触れるトイレ洗浄ハンドル等を非接触化(自動化)に整備する ②トイレ改修工事請負費一式 4,000千円 【追加】2,820千円(事業内容精査した結果の増額) ④高萩市	R4.11.11 ~ R5.3.15	13,722,165	13,722,165	既存トイレを改修し、非接触型的小便器・多目的トイレ・手洗いを整備した	観光入込客数 221,000人	314,200人	穂積家住宅来場者が利用するトイレの衛生環境が改善され、感染症対策が図られた。	生涯学習課
18	高萩市畜場トイレ改修	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、便器改修及び蛇口や照明の非接触化 ②畜舎トイレ改修工事 11,303千円 ④高萩市畜場	R4.8.11 ~ R4.12.8	11,803,000	11,803,000	畜場利用者の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、トイレ設備の非接触化等の対策を行った	当該施設での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	畜場のトイレの非接触化を図ったことで、利用者が、新型コロナウイルス感染症の感染に心配することなく、安心して利用できるようになった。	環境市民協働課

No	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④交付対象者 (自治体自ら実施の場合、不要) ※実施計画書の内容を掲載しています	事業期間	総事業費 (円)	うち交付金 (円)	事業実績	成果目標 (目標) (実績)	評価	担当課
19	「高萩市立小中学校修学旅行」中止に伴う費用	①新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う旅行中止に係る旅行会社への企画料を市が負担することにより、保護者への負担を軽減する ②③中止に伴う費用一式 2,135千円 【追加】1,711千円 ④市内小中学校在籍の児童生徒、保護者	R4.4.1 ~ R5.2.2	-	-	-	旅行中止に伴う企画料の保護者負担金 0円	-	学校教育課
20	新型コロナウイルス感染症対策交通事業者支援経費	①コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受けた公共交通サービス事業者に対し、運行を継続するための協力金を交付 ②公共交通サービスを継続するための協力金 ③事業者支援 一律500千円、運航支援60千円×路線便数、20千円×バス保有台数 (タクシーの場合10千円) ④公共交通事業者	R4.8.1 ~ R4.11.30	5,980,000	5,980,000	備前タクシー 650千円 高萩タクシー 650千円 備前観光バス 1,560千円 茨城交通 2,520千円 阿久野交通 600千円	公共交通事業者運行継続率 100%	100%	企画財政課
21	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、保育の継続に必要な増し経費や、感染防止を図るため物品購入についての補助。 ②③施設規模や事業内容ごとで定めた単価 (250~500千円) 基準に基づき算定 5施設での事業計6,600千円×1/3=2,200千円 (国) ④保育園、認定こども園、社協	R4.4.1 ~ R5.3.31	6,178,000	2,060,000	・補助施設数 (法人) 等 5施設 (保育園、認定こども園を運営する法人及び社協が実施する子ども・子育て支援事業 (延長保育事業、ファミリー・サポート・センター事業等) の実施に係る感染症予防対策に対して補助) ・補助総額 6,178千円	市内保育施設等での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	子育て支援課
22	保育対策総合支援事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、保育の継続に必要な増し経費や、感染防止を図るため物品購入についての補助。 ②③定員60人以上 500千円×5施設×1/2=1,250,000円 定員20~59人 400千円×2施設×1/2=400,000円 定員19人以下 150千円×1施設×1/2=150,000円 ④保育園、認定こども園、認可外保育施設	R4.4.1 ~ R5.3.31	3,138,000	1,569,000	・補助施設数 7施設 (保育園、認定こども園、認可外保育施設) の教育・保育の実施に係る感染症予防対策に対して補助 ・補助総額 3,138千円	市内保育施設等での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	子育て支援課
23	中小企業等支援経費 (物価高騰分)	事業No.38と同一 ①新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響を受けた事業者を支援し事業の継続を図る ②令和4年度たはばば小規模企業者・個人事業主支援給付金 ③1事業者200千円×210件=42,000千円 (うち物価高騰分36,000千円、重点分6,000千円) ④市内に事業所を有する小規模企業者・個人事業主	R4.7.1 ~ R4.10.31	38,230,159	38,230,159	・申請期間 R4.7.1~R4.9.30 ・給付総事業数 210件 ・給付額 42,000千円 (内訳) 重点交付金 3,769,841円 物価高騰分 38,230,159円	当該給付金の給付割合 100%	100%	観光商工課
24	農業経営者等支援経費	①コロナ禍における原油価格及び肥料・農業資材の高騰が今後も続くことが想定されるため、経営の継続を支援する。 ②生産資材・飼料 等 ③35件×100,000円 ④認定農業者及び認定新規就農者等	R4.7.1 ~ R4.10.5	3,500,000	3,500,000	・申請期間 R4.7.21~R5.10.5 ・補助人数 35人 ・補助総額 3,500千円	コロナの影響による離農者 0人	コロナの影響による離農者 0人	農林課
25	教育支援体制整備事業費交付金	①幼稚園において、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、消毒液等や感染防止用の備品等購入 ②③消耗品費 各400千円 備品購入費 各100千円 (1/2補助) ④市内幼稚園2園	R4.7.22 ~ R5.3.24	1,000,000	500,000	・対象施設 市内公立幼稚園2園 ・感染防止対策用品の購入 手指消毒液、除菌シート、飛沫防止用パーテーション、自動手指消毒器、サマルカメラ等 消耗品800千円、備品200千円	市内幼稚園での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	教育総務課
26	宿泊学習支援経費	①高萩市立小学校5年生が、高萩スカウトフィールドで実施する宿泊学習施設借上げ料。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、テント宿泊人数の制限、宿泊地の変更に伴う経費負担。 ②③宿泊施設借上げ料 520千円 ④高萩市 (教育委員会)	R4.4.1 ~ R4.10.29	519,600	519,600	・申請期間 R4.4.1~R5.3.31 ・補助人数 212人 ・補助総額 520千円	市内小中学校での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	学校教育課
27	高萩キャンパス促進事業 (はぎびレッジ北エリア給水関係)	①不特定多数の者が来訪するキャンパス施設内において、未整備となっている給排水設備 (手洗い場等) を整備することで、基本的な手洗い等の対策を講じ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び衛生環境の確保を図る。 ②工事請負費 ③給水整備等 計25,355千円 ④高萩市	R4.11.1 ~ R5.3.24	24,794,000	24,794,000	・工事契約日 R4.11.10 ・竣工日 R5.3.20	観光入込客数 221,000人	314,200人	観光商工課
28	シニア世代スマホ対応支援事業	①非対面・非接触による行政手続きのオンライン化を促進し、新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、高齢者のスマホ購入費に対し、一部を補助する。 ②スマートフォン購入費用、事務手数料、データ移行手数料への補助金 ③補助対象者見込100人×上限30千円=3,000千円 ④市内在住65歳以上のフィーチャーフォンからスマートフォンに移行する者。	R4.9.21 ~ R5.3.17	2,792,000	2,792,000	・申請期間 R4.9.21~R5.2.28 ・補助人数 120人 ・補助総額 2,792千円	市内65歳以上の方のスマートフォン移行者数 100人	120人	企画財政課
29	自宅療養者支援サービス	①市内に居住する方で、新型コロナウイルス感染症と診断され、保健所から自宅療養を指示された方が、療養に専念できるように食料品等支援及びハルスオキシメーターの貸与を行う ②消耗品費 ③食料品等支援 1057千円 ハルスオキシメーター (14台) 購入 95千円 ④市内に居住し、新型コロナウイルス感染症と診断された方	R4.4.1 ~ R5.3.31	1,238,326	1,238,326	食料品等支援 ・申請期間 R4.4.1~R5.3.31 ・申請件数 204件 ハルスオキシメーター ・貸出期間 R4.4.1~R5.3.31 ・貸出件数 32件	対象者への支援割合 100%	100%	危機対策課
30	社会福祉施設等物価高騰対策支援 (児童福祉施設分)	①コロナ禍における原油価格や物価の高騰により、運営に大きな影響を受けた市内の児童福祉施設等の経営環境の改善及び良質なサービスの維持のため、応援金を支給する。 ②私立施設：応援金 (交付金) ③・光熱費固定費応援金：1,923,000円 定員60人以上 250千円×4施設=1,000,000円 定員20~59人 200千円×4施設=800,000円 定員19人以下 150千円×1施設=150,000円 ・食料費高騰対策応援金：2,791,800円 園児数 (R4.4.1) 517人×450円×12か月 ④保育園、認可外保育施設、その保護者	R4.9.20 ~ R5.1.25	4,714,800	4,714,800	・補助施設 9施設 ・補助総額 計4,714,800円 ①光熱費固定費用応援金 1,950千円 ②食料費高騰対策応援金 2,764,800円	当該支援金の給付割合 100%	100%	子育て支援課
31	社会福祉施設等物価高騰対策支援 (社会福祉施設分) (重点交付金分)	事業No.39.40と同一 ①コロナ禍が長期化する中、原油価格や物価高騰により、運営に大きな影響を受けた市内の社会福祉施設等に対し、応援金を支給することにより、経営環境の改善を図る。 ②③ 光熱費 定員19人以下15万円 定員20~59人以下20万円 定員60人以上25万円 食料費 実利用者数×450円×2食又は3食×12か月分 入所者数×450円×3食×12か月分 園児数×450円×12か月分 計5,327千円 (うち重点分248千円、物価高騰分4,975千円、通常分14千円) ④社会福祉施設 (公立施設を除く)	R4.11.11 ~ R4.12.15	261,200	261,200	・申請期間 R4.11.17~R4.12.2 ・対象社会福祉施設 11施設 ・補助総額 5,236,200円	対象社会福祉施設給付率100%	100%	社会福祉課
32	社会福祉施設等物価高騰対策支援 (介護サービス事業所分)	①新型コロナウイルス感染症及び原油価格や物価高騰の影響を受けた介護サービス事業者に対し、応援金を支給することにより、事業の継続を図る。 ②③ (1) 光熱費固定費応援金 定員19人以下 150千円×17事業所=2,550,000円 定員20~59人 200千円×20事業所=4,000,000円 定員60人以上 250千円×2事業所=500,000円 (2) 食料費高騰対策応援金 入所者数892人×450円×3食×12か月=14,450,400円 (3) 消耗品費 (ラベル等) 10,000円 (4) 役務費 (郵便料) 7,000円 ④市内に事業所を有する通所系・施設系介護サービス事業所	R4.11.22 ~ R5.3.30	21,517,879	21,517,879	・申請期間 R4.11.24~R5.2.6 ・応援金交付対象 39事業所 ・応援金交付総額 21,500,400円	当該応援金の給付割合 100%	100%	高齢福祉課
33	さくら宇宙公園トイレ整備事業	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策及び衛生環境保持のため、不特定多数の利用者が触れるトイレ洗浄ハンドル等を非接触化 (自動化) に整備する ②③トイレ整備工事実施設計委託料4,000千円 トイレ改修工事請負費一式22,000千円 計26,000千円 ④さくら宇宙公園	R5.2.4 ~ R5.3.15	25,795,000	25,795,000	既存トイレを改修し、非接触型小便器・多目的トイレ・手洗いを整備した	当該施設での新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	生涯学習課
34	物価高騰に伴う学校給食費に関する保護者負担軽減に関する経費	①コロナ禍における原油価格や物価高騰による学校給食費の増加分を市が負担し、保護者負担を軽減する。 ②③簡材料費4,380千円 ④市内小中学校在籍の児童生徒 (教職員除く)、保護者	R4.4.1 ~ R5.3.31	4,380,000	4,380,000	・助成人数 1,708人 ・助成額 4,380千円	学校給食費の保護者負担増額 0円	0円	教育総務課

No	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠 (対象数、単価等) ④交付対象者 (自治体自ら実施の場合、不要) ※実施計画書の内容を掲載しています	事業期間	総事業費 (円)	うち交付金 (円)	事業実績	成果目標		評価	担当課	
							(目標)	(実績)			
35	住民税非課税世帯等物価高騰対策支援	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、原油価格や物価高騰により暮らしに大きな影響が出ている中住民税非課税世帯に対して給付金を支給する。 ②③ 1世帯あたり給付金 10千円×3,200世帯=32,000千円 消耗品費44千円 ④住民税非課税世帯	R4.9.9 ~ R5.3.31	29,813,841	29,813,841	・申請期間 R4.11.2~R5.1.31 ・支給見込数 3,446件 ・支給済件数 2,977件 ・補助総額 29,770千円	対象住民税非課税世帯給付率100%	86%	原油価格や物価高騰により暮らしに大きな影響が出ている住民税非課税世帯の方に、ほぼ給付金を支給することが出来た。	社会福祉課	
36	新型コロナウイルス感染症等患者搬送用資機材購入	①新型コロナウイルス感染症患者の呼吸や飛沫に含まれる感染源を外に出さないための密閉式カプセル (アイソレーター) に付属する交換用フィルターを購入し、救急車内での隊員の安全を確保する。 ②消耗品費 (アイソレーター交換用フィルター購入) ③アイソレーター交換用フィルター 21,250円×消費税1.1×40セット=935,000円 ④高萩消防署内	R5.1.10 ~ R5.1.20	935,000	935,000	新型コロナウイルスの感染者搬送時に使用したほか、救急活動の環境を整備・強化した	消防隊員の新型コロナウイルス感染症2次感染者数 0人	0人	コロナ感染症により業務が滞ることなく感染防止に努め、市民の方が安心して救急車を利用できる環境を整えた。	警防課	
37	たかはぎ生活応援クーポン発行経費	事業No.42と同一 ①コロナ禍における原油価格や物価高騰により影響を受けた市民生活を支援し、家計の負担軽減を図るとともに、地域経済の活性化を目的に市内の取扱店で利用できる「たかはぎ生活応援クーポン」を全世帯に配布する。 ②クーポン複製費71,000千円、発送等委託料2,847千円、電算等委託料99千円、郵便料4,248千円 計78,194千円 (うち通常分5,499千円、重点分71,249千円、一財1,446千円) ④令和4年10月31日現在で市内に住民登録がある方	R4.11 ~ R5.3.17	73,457,947	73,457,947	・1世帯あたり3千円 (500円券×6枚) 2人目から2千円を加算 クーポン発送期間 R4.12.19~R5.1.31 ・発送世帯 12,380世帯 ・配付金額 66,552千円	当該支援金の給付割合 100%	100%	市内小売店等で利用できる「たかはぎ生活応援クーポン」を配布することで、原油価格や物価高騰の影響を受けた市民生活を支援し、家計負担の軽減を図るとともに地域経済の活性化に繋がった。	観光商工課	
38	中小企業等支援経費 (重点交付金)	事業No.23と同一 ①新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響を受けた事業者を支援し事業の継続を図る ②令和4年度たかはぎ小規模企業者・個人事業主応援給付金 ③1事業者200千円×210件=42,000千円 (うち物価高騰分36,000千円、重点分6,000千円) ④市内に事業所を有する小規模企業者・個人事業主	R4.7.1 ~ R4.10.31	3,769,841	3,769,841	・申請期間 R4.7.1~R4.9.30 ・給付総事業者数 210件 ・給付額 42,000千円 (内訳) 重点交付金 3,769,841円 物価高騰分 38,230,159円	当該給付金の給付割合 100%	100%	新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少した事業主に対し支援金を給付したことで、事業の継続が図られた。	観光商工課	
39	社会福祉施設等物価高騰対策支援 (社会福祉施設分) (通常分)	事業No.31.40と同一 ①コロナ禍が長期化する中、原油価格や物価高騰により、運営に大きな影響を受けた市内の社会福祉施設等に対し、応援金を支給することにより、経営環境の改善を図る。 ②③ 光熱費 定員19人以下15万円 定員20~59人以下20万円 定員60人以上25万円 食材費 実利用者数×450円×2食又は3食×12か月分 入所者数×450円×3食×12か月分 園児数×450円×12か月分 計5,327千円 (うち重点分248千円、物価高騰分4,975千円、通常分14千円) ④社会福祉施設 (公立施設を除く)	R4.11.11 ~ R4.12.15	-	-	-	対象社会福祉施設給付率100%	-	-	-	社会福祉課
40	社会福祉施設等物価高騰対策支援 (社会福祉施設分) (物価高騰分)	事業No.31.39と同一 ①コロナ禍が長期化する中、原油価格や物価高騰により、運営に大きな影響を受けた市内の社会福祉施設等に対し、応援金を支給することにより、経営環境の改善を図る。 ②③ 光熱費 定員19人以下15万円 定員20~59人以下20万円 定員60人以上25万円 食材費 実利用者数×450円×2食又は3食×12か月分 入所者数×450円×3食×12か月分 園児数×450円×12か月分 計5,327千円 (うち重点分248千円、物価高騰分4,975千円、通常分14千円) ④社会福祉施設 (公立施設を除く)	R4.11.11 ~ R4.12.15	4,975,000	4,975,000	・申請期間 R4.11.17~R4.12.2 ・対象社会福祉施設 11施設 ・補助総額 5,236,200円	対象社会福祉施設給付率100%	100%	電気・ガス料金を含む物価高騰が続くなか、施設の負担の軽減や、サービスの質の確保を支援することが出来た。	社会福祉課	
41	社会福祉施設等物価高騰対策支援 (公立児童福祉施設分)	①コロナ禍における原油価格や物価の高騰により、運営に大きな影響を受けている市内公立施設において、食材費の増額分を市が負担し、保護者負担を軽減する。 ②高騰分の食材料費等に臨時交付金を充当 (財源内訳補正) ③公立認定こども園分: 687,000円 ④認定こども園の園児 (教職員除く)、その保護者	R4.9.20 ~ R5.3.31	695,456	695,012	・対象施設 1施設 ・充当総額 695,012千円	当該支援金の給付割合 100%	100%	高騰分に充当できたことにより、保護者負担へ転嫁することなく、給食の提供を実施できた。	子育て支援課	
42	たかはぎ生活応援クーポン発行経費	事業No.37と同一 ①コロナ禍における原油価格や物価高騰により影響を受けた市民生活を支援し、家計の負担軽減を図るとともに、地域経済の活性化を目的に市内の取扱店で利用できる「たかはぎ生活応援クーポン」を全世帯に配布する。 ②クーポン複製費71,000千円、発送等委託料2,847千円、電算等委託料99千円、郵便料4,248千円 計78,194千円 (うち通常分5,499千円、重点分71,249千円、一財1,446千円) ④令和4年10月31日現在で市内に住民登録がある方	R4.11.1 ~ R5.3.17	1,547,706	1,547,706	・1世帯あたり3千円 (500円券×6枚) 2人目から2千円を加算 クーポン発送期間 R4.12.19~R5.1.31 ・発送世帯 12,380世帯 ・配付金額 66,552,000円	当該支援金の給付割合 100%	100%	市内小売店等で利用できる「たかはぎ生活応援クーポン」を配布することで、原油価格や物価高騰の影響を受けた市民生活を支援し、家計負担の軽減を図ることができた。また、地域経済の活性化にも繋がった。	観光商工課	
43	地域女性活躍推進交付金	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動や働き方に制約があるなか、就職や起業などに興味や意欲があっても、踏み出せずにいる女性向けに、セミナーを開催する。具体的には、令和3年度に開催したロールモデルや地域で女性の活躍を支援する個人・団体 (活動場所の提供や広報・イベント連携などを行っている者) との交流の場を創出し、セミナー後も悩みや問題を相談できるネットワークをつくり、コロナ禍でも女性が活躍しやすい地域づくりを進める。 ②・女性が輝く地域づくり事業349千円 ・女性が輝く家庭づくり事業554千円 ③報償費538千円、需用費181千円、役務費 54千円、使用料及び賃借料130千円 ④高萩市	R4.4.1 ~ R5.3.31	505,311	187,000	①ロールモデルの5名が講師となり、就職や起業、イベントの開催に興味がある方向けに、交流をメインとしたセミナーを開催し、コロナ禍においても女性が活躍できる地域づくりに努めた。 ②夫婦での家事シェア・ワークライフバランスをテーマとしたセミナーを開催し、男性の家事参加の啓発を行った。	ロールモデル及びサポート者の人数 6人 男性の家事・育児に積極的に参加すると回答した割合 60%	ロールモデルの人数 7人 男性の家事・育児に参加した割合 26.2%	ロールモデルを講師に迎えた。セミナーに、就業や起業に興味のある参加者が参加し、交流を深め、地域で女性が活躍できるネットワークが構築できた。また、夫婦の家事シェアをテーマのセミナーを開催し、家庭での男女共同参画の推進を図った。	環境市民協働課	
44	疾病予防対策事業費等補助金	①風しんの定期予防接種を受ける機会がなかった男性に対し、風しんの抗体検査の機会を提供するし、風しんの感染拡大を防止することで、コロナ禍での健康不安を解消する。 ②風しん抗体検査費、国保連事務手数料、風しんの抗体検査未実施者に対する勧奨通知郵送料 ③検査費: 1,362,537円 (240人分)、役務費: 手数料72,000円 (300円×240件)、郵便料142,800円 (84円×1,700通) 事業費合計1,577,337円 ④高萩市民のうち昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性	R4.4.1 ~ R5.3.31	1,577,337	50,000	・実施期間 R4.4.1~R5.3.31 ・抗体検査実施件数 89件 (※検査実施に伴う国保連事務手数料 89件) ・受診勧奨通知 2,097件	抗体検査実施件数240件	89件	大人の風しんの抗体検査により、抗体保有がなかった者に予防接種を実施 (24人) し、風しんの感染拡大防止が図られた。	健康づくり課	
45	地方消費者行政強化交付金	強化事業メニュー ①市内の消費生活団体との連携により、消費生活イベントを開催し、コロナ禍ならではの相談のほか、多様化する消費者被害の未然防止に向けた普及啓発を行うことで、消費者の消費生活の改善と向上を図る。 ②消費生活啓発推進委託料 ③イベント開催に係る委託料 251,000円 ④みんなの消費生活展実行委員会	R4.4.1 ~ R5.3.31	251,000	101,000	・開催日 R4.11.19・20 (2日間) ・来場者数 1,800人	みんなの消費生活展来場者数 2,100人	1,800人	市内の消費生活団体との連携により、消費生活イベントを開催し、コロナ禍ならではの相談のほか、多様化する消費者被害の未然防止に向けた普及啓発を行った。消費者の消費生活の改善と向上に繋がった。	観光商工課	
合計				379,413,092	371,230,000						

注) 1. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画に計上している事業のうち、交付金充当事業について記載すること。
2. 交付金充当事業については、事業の実施を証する書類 (契約書の写し等) 及び事業の完了を証する書類 (請求書、領収書の写し等) を各団体において保管すること。
3. 「No」の欄、「事業名」の欄は、それぞれ新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画から「No」の欄、「交付対象事業の名称」の欄を転記すること。
4. 「交付金充当経費」の合計欄の額は、「既交付額」の欄と「精算払請求額」の欄の合計と等しくなるようにすること。